

口からはじまる健康づくり

保健センター ☎ 35-1070

歯を失う主な原因は虫歯と歯周病です。2024年に実施した本市の成人歯周病検診では、40歳以上の54.7%が歯周病に罹患^{りかん}していました。そこで、今回は歯周病について、こन्दう歯科医院の近藤尚文院長に話を聞きました。

Q 市民の歯や口腔への健康意識はどのように変わっているの？

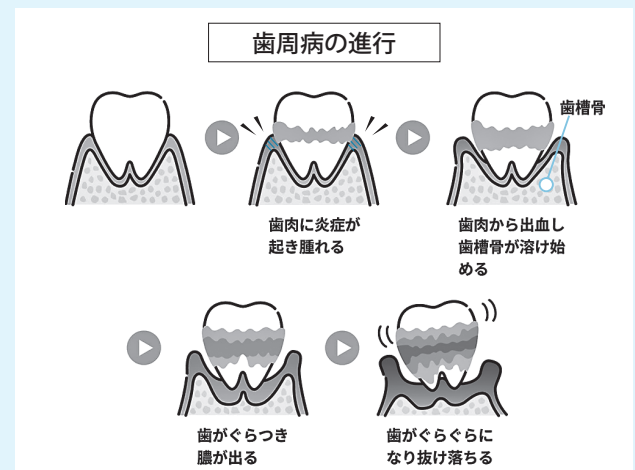
A 皆さんが歯医者に行くのはどのような時でしょうか？ 痛みがある時やかぶせ物が取れた時など、理由はさまざまだと思います。近年はテレビやインターネットなどで口の健康や新しい治療に関する情報が取り上げられ、予防や治療への相談が増えるなど、関心が高まっています。



Q 歯周病ってどんな病気？

A 歯周病は、歯を支える歯ぐきや骨が歯周病菌により徐々に破壊される病気です。初期段階では歯肉炎と呼ばれ、歯ぐきの腫れや出血などが見られます。進行すると歯周ポケットができ、細菌が侵入することで骨や繊維が破壊されていきます。

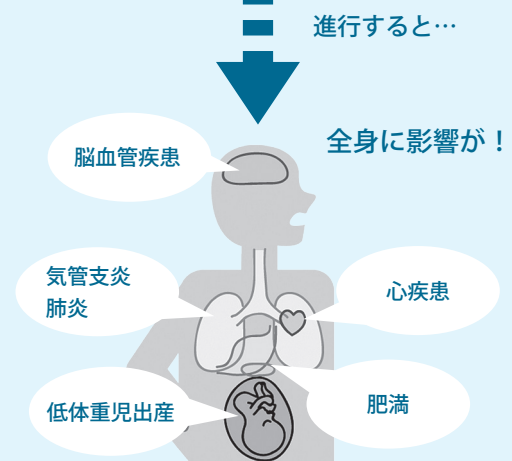
また、歯ぎしりやかみ合わせの不具合などによる過度な力も歯周病を悪化させる原因になります。



Q 歯周病が体に及ぼす影響は？

A 歯周病菌によって発生する毒素や炎症性物質が、毛細血管を通り全身に運ばれることで、心疾患、脳血管疾患、糖尿病の悪化、低体重児出産などを引き起こす危険性が高いことが分かってきました。

また、気道から気管支、肺に入ることによって気管支炎、誤嚥性肺炎の原因となる他、肥満、メタボリックシンドロームとの関係も示唆されており、全身へと影響を及ぼす可能性があります。



Q どの年代が歯周病に気を付けるべき？

A 歯周病は年配の病気のイメージがあるかもしれませんが、若年性歯周炎によって歯を失う場合や、子どもでも食生活、歯みがき不足、口呼吸によって慢性的な歯周炎になることがあります。どの年齢でも注意が必要です。

Q 予防のために大切なことは？

A まずは自分の口の状態を知ることが大切です。定期的にかかりつけの歯科医・歯科衛生士の診察を受けることで、自覚症状が出にくい歯周病の治療・予防ができます。

毎月17日は、ローソルト＋ベジチェック

減塩と野菜摂取で高血圧を予防。約30秒で
推定野菜摂取量が見える化できるベジチェック
を体験しませんか。

日 7月17日(木) 9:30～11:30

場 国保課 11番窓口前

￥ 無料

問 国保課 ☎ 65-1219



こころの相談

こころの悩みや不安の相談に臨床心理士が応
じます。

(Zoomによるオンライン相談も可)

日 7月17日(木) 9:30～11:30

定 2組程度（要予約）

￥ 無料

場・申・問 保健センター

☎ 35-1070



出張健康相談

保健師や管理栄養士などが市内の店舗に出張
し、食事や生活習慣病予防になど健康づくりに関
する相談をお受けします。お買い物ついでにお気
軽にお立ち寄りください。

日・場 7月7日(月) マルナカ新居浜本店駐車場
28日(月) ハローズ新居浜郷店駐車場
(10:00～11:30、MaaS車両内)

￥ 無料 **問** 健康政策課 ☎ 65-1586



♥ 医師から学ぼう！胃がん

胃がんの特徴的な症状、治療などについて、
消化器内科医師が分かりやすく紹介します。
講師：仁科智裕（四国がんセンター医師）

日 7月25日(金) 10:30～11:30

場・問 四国がんセンター 患者・家族総合支援
センター暖だん ☎ 089-999-1209
(担当課：保健センター ☎ 35-1070)

こんどう歯科医院

近藤院長からのメッセージ

虫歯がなければ口の健康は大丈夫だと思ってい
る人もいるかと思いますが、虫歯はなくても
歯周病になっている場合があります。

歯医者が苦手で受診できていない人も多いと思
いますが、ぜひ今回の成人歯周病検診を機会に歯周
病について知り、健康な生活につなげましょう。

★成人歯周病検診を受けてみませんか？

問診や口腔内診査を受けて口や体の健康を守りましょう。

対 20歳(平成17年4月1日～平成18年3月31日生まれ)、
30歳(平成8年3月31日以前生まれ)～74歳(受診日年齢)
※現在治療中の人を除く

日 7月1日(火)～10月31日(金)

￥ 無料(期間中1回のみ)

持参物 市民であることが分かるもの
(運転免許証、マイナンバーカードなど)

場・申 市内委託歯科医療機関

問 保健センター ☎ 35-1070

※75歳以上の人は後期高齢者歯科口腔健診が受けられま
す。後期高齢者医療広域連合(☎ 089-911-7739)へお
申し込みください。



♥ 若年者健康診査

生活習慣病を予防するためには、若い世代から健診を
受診して、自分の体の状態を確認することが大切です。
年に1回、健診を受診しましょう。

内容：問診、診察、身体測定、血圧測定、血液検査、尿
検査

対 19～39歳(昭和61年4月1日～平成19年3月31
日生まれ)

※職域の健康診断としての利用はできません。

日 集団健診の全日程で受診可能(要申し込み)

￥ 1,000円

※一部日程で女性は子宮頸がん検診(1,000円)、
乳房エコー検査(5,800円)も受診可能

※託児可能(予約時に要申し出)

申・問 保健センター ☎ 35-1308

40歳以上の人は、特定健康診査・各種がん検診
などを利用できます。



詳細はこちら